

事業報告（平成9年度）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 京都市立芸術大学芸術資料館 公開日: 2022-11-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15014/00000449

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License.



展示関係

A. 収蔵品展一覧

1: 芸術資料館陳列室

- 第1回 「春季展」
会期 平成9年4月10日(木)～4月29日(火)
入場者 600人 20日間
出品点数 21点
- 第2回 「模写」
会期 平成9年5月23日(金)～6月15日(日)
入場者 1333人 35日間
出品点数 35点
- 第3回 「新収蔵品展」
会期 平成9年9月9日(火)～9月30日(火)
入場者 894人 22日間
出品点数 28点
- 第4回 「秋季展」
会期 平成9年11月1日(土)～11月24日(月)
入場者 1958人 24日間
出品点数 40点
- 第5回 「卒業作品」展
会期 平成10年2月3日(火)～2月22日(日)
入場者 1018人 20日間
出品点数 17点

◎総計 5803人 (110日開室) (総展示点数 141点)

2. 京都市四条ギャラリー

京都市四条ギャラリー(下京区四条高倉東入)において、本館及び本学芸術教育振興協会が主催する収蔵品展を開催した。

「京都市立芸術大学芸術資料館収蔵品展
小合友之助-染色と絵画」

会期 平成9年10月4日(土)～10月27日(月)
入場者 1100人 21日間 (展示点数 79点)

B. 収蔵品展展示概要

第1回 「春季展」

会期 平成9年4月10日(木)～4月29日(火)
 入場者 600人 20日間
 出品点数 21点

「恒例となりました春季展です。今回の展示では、本館収蔵品の中から、絵画と工芸作品の一部を紹介いたします。今回初めて展示される藤原貞幹の『集古図』の他、大村広陽や青木生冲の卒業作品など久しく展示の機会がなかった作品を中心に構成しました。時代も形態も様々ですが、それぞれの作品は興味深くご覧いただけるものと思います。」

展 示 作 品

清水六和	青花稲穂花瓶	陶土/釉	焼成	立体	1個	昭和5年頃(c.1930)
清水六兵衛(六代)	色絵草花文様盛器	陶土/釉	焼成	立体	1個	昭和10年(c.1935)
河合卯之助	いちはつ赤絵額皿	陶土/釉	焼成	立体	1個	昭和22年頃(c.1947)
河合卯之助	山桑真葉瓶	陶土/釉	焼成	立体	1個	昭和29年頃(c.1954)
河合卯之助	鐔口赤絵花瓶	陶土/釉	焼成	立体	1個	昭和38年頃(c.1963)
近藤 豊	粉華三島大鉢	陶土/釉	焼成	立体	1個	昭和58年(1983)
森野嘉光	塩釉花器	陶土/焼成	立体	1個	昭和35年(1960)/第3回新日展	
森野嘉光	塩釉蓼花瓶	陶土/釉	焼成	立体	1個	昭和46年(1971)
田中苔石(九衛)	紡績工場図	紙/木炭	木炭画	額	1面	明治18年頃(c.1885)
今井憲一	蓮池	麻布/油絵具	油彩	額	1面	昭和18年(1943)/第6回文展
大村広陽	水牛	美工絵画科卒業作品	絹布/顔料	膠彩	屏風(6曲)	1隻
鄭褰裳	鸚哥	絵専卒業作品	絹布/顔料	膠彩	軸	1幅
					大正3年(1914) 絵専美工両校生徒作品展	
小田泉谷	物詣で	絵専卒業作品	絹布/顔料	膠彩	軸	1幅
					大正4年(1915) 絵専美工両校生徒作品展	
山田星村	涙雨	絵専卒業作品	和紙/顔料	膠彩	屏風(6曲)	1隻
					大正4年(1915) 絵専美工両校生徒作品展	
藤川芳水	文使	絵専卒業作品	絹布/顔料	膠彩	軸	1幅
					大正5年(1916) 絵専美工両校生徒作品展	
青木生冲	凧たる浜	絵専卒業作品	絹布/顔料	膠彩	軸	1幅
					大正6年(1917) 絵専美工両校生徒作品展	
石崎光瑠	緋緘綬鶏	石崎光瑠絵画資料	和紙/顔料	膠彩	額	1面
					昭和6年(1931)	
石崎光瑠	蒼鷹	石崎光瑠絵画資料	和紙/顔料	膠彩	額	1面
					昭和15年(1940)	
林屋坦養	公園	和紙/顔料	膠彩	屏風(6曲)	1隻	昭和15年頃(c.1940)
田中訥言	加茂祭草紙	和紙/墨・顔料	膠彩	卷子	1巻	安永8年頃(c.1779)
藤原貞幹	集古図 天文・地理	和紙/墨	墨画	卷子	1巻	寛政4年頃(c.1792)

第2回 「模写」

会期 平成9年5月23日(金)～6月15日(日)
 入場者 1333人 35日間
 出品点数 35点

「今回の展示では、本館の収蔵品の中から、東洋絵画の模写作品を選びました。本館の模写作品は、絵画制作の参考資料として京都府画学校の時代から収集され始めたものですが、明治末期の入江波光在学の頃から、単に模本を集めるだけでなく、積極的にこれを制作して充実につとめるようになりました。波光の薫陶を受けた若い画家達が昭和初期に模本制作に専心した成果も多く遺されており、模写という制作方法が持つ作品としての可能性を教えてください。」

展 示 作 品

- 狩野探幽 葡萄図（日観子温） 和紙／墨 墨画 軸 1幅 江戸時代前期（17th Century）
 円山応挙 金谷園桃李園図（仇英）（京都：知恩院）和紙／墨・顔料 墨画・部分膠彩
 軸 2幅 江戸時代後期（19th Century）
- 林司馬 牡丹図（錢選）（京都：高桐院）和紙／墨・顔料 膠彩 軸 1幅
 昭和18年頃（c. 1943）
- 吉田友一 牡丹図（錢選）（京都：高桐院）和紙／墨・顔料 膠彩 軸 1幅
 昭和18年頃（1943）
- 林司馬 梨花図（王淵） 和紙／墨・顔料 膠彩 軸 1幅 昭和7年（1932）
 入江波光 唐人聴琴図（仇英） 和紙／墨・顔料 膠彩 軸 1幅
- 村上華岳 釈迦成道図（東京：東京芸術大学） 和紙／墨 墨画 軸 1幅
 明治時代（20th Century）
 大正元年（1912）
- 木下章・岩井弘・岩倉寿・宮本道夫 女史箴図卷（顧愷之）（英国：大英博物館）
 和紙／墨・顔料 膠彩 卷子 1卷 昭和52年（1977）
- 入江波光 駿牛図（東京：東京国立博物館） 和紙／墨・顔料 墨画・部分膠彩
 軸 1幅（20th Century）
- 林司馬 細川蓮丸像（京都：南禅寺聴松院） 和紙／墨・顔料 膠彩 軸 1幅
 昭和12年頃（c. 1937）
- 吉田友一 後宇多天皇像（京都：大覚寺）和紙／墨・顔料 彩 軸 1幅
 昭和15年（1940）
- 中島悠翠 虚堂和尚像（京都：大徳寺）和紙／墨・顔料 膠彩 軸 1幅
 昭和17年（1942）
- 作者不詳 伝源頼朝像（京都：神護寺）和紙／墨・顔料 膠彩 軸 1幅
 明治時代（20th Century）
- 入江波光 阿弥陀聖衆来迎図（和歌山：有志八幡講十八箇院） 和紙／墨・顔料 膠彩
 軸 3幅 明治44年（1911）
- 入江波光 十二天像 水天像（京都：京都国立博物館）和紙／墨・顔料 膠彩
 軸 1幅（20th Century）
- 二宮一鳩 動物綵絵 紫陽花に双鶏図（伊藤若冲）（御物）和紙／墨・顔料 膠彩
 軸 1幅（20th Century）
- 榊原苔山 動物綵絵 貝甲図（伊藤若冲）（御物）和紙／墨・顔料 膠彩
 軸 1幅（20th Century）
- 林司馬 平等院鳳凰堂上品中生図棧模様及棧下落書（京都：平等院）和紙／墨・顔料 膠彩
 額 3面 昭和45年（1970）
- 林司馬 平等院鳳凰堂上品中生図（部分）（京都：平等院）和紙／墨・顔料 膠彩
 額 1面 昭和45年（1970）
- 林司馬 法隆寺金堂六号壁観音像（部分）（奈良：法隆寺）和紙／墨・顔料 墨画・部分膠彩
 額 1面 昭和23年（1948）
- 林司馬 明恵上人像（京都：高山寺）和紙／墨・顔料 膠彩 軸 1幅
 昭和25年（1950）
- 森村好樹・上田英次・牧綾蔵・中島悠翠・吉田義夫 一遍上人絵伝（清浄光寺本）（神奈川：清浄光寺）
 和紙／墨・顔料 膠彩 卷子 1卷 昭和12年（1937）
- 松井大浩・吉田友一・中島悠翠 小野雪見御幸絵巻（東京：東京芸術大学） 和紙／墨・顔料
 膠彩 卷子 1卷 昭和10年（1935）
- 田中親美 源氏物語絵巻（愛知：徳川美術館） 和紙／墨・顔料 膠彩
 卷子 1卷（20th Century）
- 作者不詳 将軍塚絵巻（京都：高山寺） 和紙／墨 墨画 卷子 1卷
 （20th Century）
- 入江波光 二尊院縁起（京都：二尊院） 和紙／墨・顔料 膠彩 卷子 1卷
 （20th Century）

上村淳之・岡崎忠雄	受胎告知 (フラ・アンジェリコ)	[イタリア:サン・マルコ寺院]	和紙/墨・顔料	膠彩	額	1面	昭和50年(1975)
上原卓	洗礼者ヨハネの生涯	ヘロデの宴 (マゾリーノ・ダ・バニカーレ)	[イタリア:カステイリ オーネ・オローナ洗礼堂]	和紙/墨・顔料	膠彩	額	1面 昭和50年(1975)
岩倉寿	オルソラの家族 (トマソ・ダ・モデナ)	[聖オルソラ物語/イタリア:トレビーズ市立 美術館]	和紙/墨・顔料	膠彩	額	1面	昭和49年(1974)
岩倉寿	巡礼への航海 (トマソ・ダ・モデナ)	[聖オルソラ物語/イタリア:トレビーズ市立 美術館]	和紙/墨・顔料	膠彩	額	1面	昭和52年(1977)
木下章	オルソラと仲間たちのローマへの航海 (トマソ・ダ・モデナ)	[聖オルソラ物語/イタリア :トレビーズ市立美術館]	和紙/墨・顔料	膠彩	額	1面	昭和52年(1977)
木下章	ローマ法王との謁見図 (トマソ・ダ・モデナ)	[聖オルソラ物語/イタリア:トレビ ーズ市立美術館]	和紙/墨・顔料	膠彩	額	1面	昭和49年(1974)
岩井弘	殉教の図 (トマソ・ダ・モデナ)	[聖オルソラ物語/イタリア:トレビーズ市立美術館]	和紙/墨・顔料	膠彩	額	1面	昭和52年(1977)
岩井弘	殉教の図 (トマソ・ダ・モデナ)	[聖オルソラ物語/イタリア:トレビーズ市立美術館]	和紙/墨・顔料	膠彩	額	1面	昭和49年(1974)
岩井弘	大天使ミカエル像 (トマソ・ダ・モデナ)	[イタリア:トレビーズ市立美術館]	和紙/墨・顔料	膠彩	額	1面	昭和52年(1977)

第3回 「新収蔵品展」

会期 平成9年9月9日(火)～9月30日(火)

入場者 894人 22日間

出品点数 28点

「恒例となりました新収蔵品の展示です。平成8年度に購入または寄贈移管等により新たに収蔵された収蔵品48点のうち、卒業作品を除く作品を展示いたします。会場の都合で、一部ご紹介できない作品があることは大変残念なのですが、平面を中心としたバラエティに富んだ内容はきっと皆さんの目を楽しませるものと思います。

内容の特徴としては、退職された本学教授の方々からたくさんの寄贈作品があったこと、浅井柳塘や跡見玉枝といった本学の前身である京都府画学校時代の教員をはじめ、神坂雪佳や三宅呉暁といった本学ゆかりの作家の作品が充実したことがあげられます。

そして、最後になりましたが、ご寄贈をいただいた方々には重ねてお礼を申し上げます。」

展 示 作 品

小牧源太郎	顔貌	麻布/油絵具	油彩	額	1面	昭和14年(1939)
						寄付(小牧ますの)
小牧源太郎	仏足跡	麻布/油絵具	油彩	額	1面	昭和19年(1944)
						寄付(小牧ますの)
小牧源太郎	ハヂチ(新興宗教・その三)	麻布/油絵具	油彩	額	1面	昭和30年(1955)
						寄付(小牧ますの)
小牧源太郎	作品 No. 1	麻布/油絵具	油彩	額	1面	昭和36年(1961)
						寄付(小牧ますの)
小牧源太郎	須・ス・Su	麻布/油絵具	油彩	額	1面	昭和37年(1962)
						寄付(小牧ますの)
小牧源太郎	卵型印相達磨 No. 2	麻布/油絵具	油彩	額	1面	昭和38年(1963)
						寄付(小牧ますの)
小牧源太郎	エスピリティズモ No. 5	麻布/油絵具	油彩	額	1面	昭和39年(1964)
						寄付(小牧ますの)
小牧源太郎	観	麻布/油絵具	油彩	額	1面	昭和48年(1973)
						寄付(小牧ますの)

小牧源太郎	景観80 No. 3	麻布／油絵具	油彩 額 1面	昭和55年(1980)	寄付(小牧ますの)
小牧源太郎	エスターデ No. 5	麻布／油絵具	油彩 額 1面	昭和61年(1986)	寄付(小牧ますの)
下村良之介	鳥1 下村良之介絵画資料	紙／鉛筆	鉛筆画 まくり 1枚	昭和30年頃(c.1955)	寄付(下村良之介)
下村良之介	鳥2 下村良之介絵画資料	紙／パステル	紙・パステル まくり 1枚	昭和30年頃(c.1955)	寄付(下村良之介)
下村良之介	舞妓(座像) 下村良之介絵画資料	紙／鉛筆・パステル	パステル描 まくり 1枚	昭和31年(1956)	寄付(下村良之介)
下村良之介	舞妓(顔) 下村良之介絵画資料	紙／鉛筆・パステル	パステル描 まくり 1枚	昭和31年(1956)	寄付(下村良之介)
下村良之介	舞妓 下村良之介絵画資料	紙／鉛筆・色鉛筆	鉛筆画 まくり 1枚	昭和40年頃(c.1965)	寄付(下村良之介)
下村良之介	海 エスキース 下村良之介絵画資料	紙／鉛筆	鉛筆画 まくり 1枚	昭和24年(1949)	寄付(下村良之介)
下村良之介	祭 エスキース 下村良之介絵画資料	紙／鉛筆	鉛筆画 まくり 1枚	昭和25年(1950)	(第5回パブリック展出品作) 寄付(下村良之介)
下村良之介	闘鶏屏風(直)画稿	紙／鉛筆・淡彩	鉛筆画 屏風(2曲) 1隻	昭和53年(1978)	寄付(下村良之介)
高井一郎	自転車(マイクロライト号・アラヤ製)	アルミ合金・クロムモリブデン鋼等	立体 1台	昭和56年(1981)	寄付(高井一郎)
中井貞次	瞑想	絹布／蘇枋	蠟染 屏風(2曲) 1隻	昭和49年(1974)	寄付(中井貞次)
中井貞次	間の実在	麻布／天然藍他	蠟染 屏風(2曲) 1隻	昭和52年(1977)	第9回日展特選 寄付(中井貞次)
中井貞次	ECOLOGY	麻布／すくも 他	蠟染 屏風(2曲) 5隻	平成7年(1995)	中井貞次展(京都府) 寄付(中井貞次)
跡見玉枝	桜花禽鳥図	絹布／顔料	膠彩 軸 1幅	大正～昭和初期(20th Century)	購入
浅井柳塘	山水十二図冊	絹布／墨・顔料	膠彩 画冊 1帖	明治34年(1901)	購入
幸野樸嶺	蓮池図画稿	和紙／墨	墨画 軸 1幅	明治26年(1893)	東本願寺大師堂余間障壁画 購入
三宅呉暁	春山図	絹布／顔料	膠彩 額 1面	大正～昭和初期(20th Century)	移管(上京区役所)
神坂雪佳	観楓図	絹布／顔料	膠彩 額 1面	大正～昭和初期(20th Century)	移管(上京区役所)
伊藤快彦	能道具図	杉板／油絵具	油彩 額 1面	大正～昭和初期(20th Century)	移管(上京区役所)

第4回 「秋季展」

会期 平成9年11月1日(土)～11月24日(月)
 入場者 1958人 24日間
 出品点数 40点

「今回の展示は、本館の収蔵品の中から、絵画と工芸作品を選び展示します。旧教員の作品が多数を占めていますが、日本画の卒業作品のうち2点はこれまで、ほとんど公開されなかった作品です。特に、戦時下に学業半ばにして繰り上げ卒業となり、戦地で志しを果たすことなく倒れた学生の存在を知ることとはとても大切なことと思います。また、近年寄贈を受け整理が進められつつある、星野空外の写生を初めて展示します。同級生であった土田麦僊の写生資料も展示しますので、時代の雰囲気を感じていた

できればうれしく思います。工芸作品は、古陶磁から現代の造形表現に至る、幅広い焼き物のおもしろさを楽しめる展示にしました。」

展 示 作 品

土田麦僊	朝鮮の人	土田麦僊絵画資料	和紙/朱	膠彩	額	1面	昭和10年(1935)
土田麦僊	橋	絹布/墨・顔料	墨画・膠彩	額	1面	大正末~昭和初期(20th Century)	
土田麦僊	写生帖	土田麦僊絵画資料	紙/鉛筆	鉛笔画	冊子	1冊	昭和8年(1933)
土田麦僊	写生帖	土田麦僊絵画資料	紙/鉛筆	鉛笔画	冊子	1冊	昭和10年(1935)
星野空外	美工紀州行	星野空外絵画資料	和紙/顔料	膠彩	画帖	1冊	明治38年(1905)
星野空外	巴里の鴨	星野空外絵画資料	和紙/顔料	膠彩	まくり	1枚	明治38年(1905)
星野空外	桐の花	星野空外絵画資料	和紙/顔料	膠彩	まくり	1枚	明治41年(1908)
星野空外	塩原温泉1	星野空外絵画資料	和紙/顔料	膠彩	画帖	1冊	明治43年(1910)
星野空外	淀川風景(表)・裸婦(裏)	星野空外絵画資料	和紙/顔料	膠彩	まくり	1枚	明治44年(1911)
星野空外	勝浦滞在2	星野空外絵画資料	和紙/顔料	膠彩	画帖	1冊	大正4年(1915)
星野空外	塩津画卷1	星野空外絵画資料	和紙/顔料	膠彩	画卷	1巻	大正5年(1916)
星野空外	塩津画卷2	星野空外絵画資料	和紙/顔料	膠彩	画卷	1巻	大正5年(1916)
星野空外	大判写生1	星野空外絵画資料	和紙/顔料	膠彩	画帖	1冊	大正12年(1923)
星野空外	黍	星野空外絵画資料	和紙/顔料	膠彩	まくり	1枚	昭和20年(1945)
星野空外	あけび	星野空外絵画資料	和紙/顔料	膠彩	まくり	1枚	昭和27年(1952)
星野空外	寒苺	星野空外絵画資料	和紙/顔料	膠彩	まくり	1枚	昭和27年(1952)
星野空外	柿	星野空外絵画資料	和紙/顔料	膠彩	まくり	1枚	昭和35年(1960)
伊庭伝次郎	牛窓風景	麻布/油絵具	油彩	額	1面	昭和39年(1964)	
国盛義篤	西芳寺林泉	麻布/油絵具	油彩	額	1面	昭和23年(1948)	
高林和作	葉塚	麻布/油絵具	油彩	額	1面	昭和38年(1963)	
津田周平	朝寒	紙/油絵具・顔料	油彩・テムペラ	額	1面	昭和60年(1985)	第37回京展
麻田辨自	暈	和紙/顔料	膠彩	額	1面	昭和43年(1968)	第11回日展
川本参江	洛北の村	絹布/顔料	膠彩	屏風(2曲)	1隻	大正9年(1920)	第2回帝展
川本参江	港	絵専卒業作品 絹布/顔料	膠彩	軸	1幅	大正3年(1914)	絵専美工両校生徒作品展
徳岡神泉	晩秋	絹布/顔料	膠彩	額	1面	大正5年(1916)	

不染鉄	冬	絵専卒業作品	和紙/顔料	膠彩	軸	1幅	大正12年(1923)	絵専美工両校生徒作品展
星野空外	淀川	絵専卒業作品	絹布/顔料	膠彩	軸	1幅	明治44年(1911)	絵専美工両校生徒作品展
吉岡茂夫	丘の樹	美工絵画科卒業作品	和紙/顔料	膠彩	額	1面	昭和16年(1941)	絵専美工両校生徒作品展
作者不詳	黄釉大海茶入		陶土/釉	焼成	立体	1個		江戸時代(18th Century)
浅見隆三	蒼		陶土/釉	焼成	立体	1個	昭和44年(1969)	第1回改組日展
加守田章二	壺	美大工芸科陶磁器専攻卒業作品	陶土/釉	焼成	立体	1個	昭和31年(1956)	美大作品展
川本半助	霊獣飾蓋物		陶土・磁土/釉	焼成	立体	1個		明治時代(19th Century)
清水六和	紫翠幼花瓶		陶土/釉	焼成	立体	1個		昭和時代(20th Century)
小山喜平	交合(立体造形)		陶土/釉	焼成	立体	1個	平成5年(1993)	第48回新匠会展
小山喜平	象嵌花瓶	美大工芸科陶磁器専攻卒業作品		陶土/釉・金	焼成	立体 1個	昭和29年(1954)	美大作品展
鈴木治	彌生	陶土/釉	焼成	立体	1個		平成2年(1990)	1990走泥社展
角倉一方堂	加彩猿置物		陶土/顔料	焼成・膠彩	立体	1個		江戸末~明治初期(19th Century)
仁阿弥道八	錆絵曆文茶碗		陶土/釉	焼成	立体	1個		天保4年(1833)
仁阿弥道八	葡萄形盃洗		陶土/釉	焼成	立体	1個		江戸時代後期(19th Century)
藤平伸	朔北	陶土/釉	焼成	立体	1個		昭和62年(1987)	第19回改組日展

第5回 「卒業作品」展

会期 平成10年2月3日(火)~2月22日(日)

入場者 1018人 20日間

出品点数 17点

「恒例となりました卒業作品の展示です。今回は、本館の収蔵品の中から、本学の前身である美術大学から芸術大学に至る卒業作品の一部を展示いたします。選びましたのは、デザイン専攻学生の作品で、大半は収蔵後初めて公開されるものです。現在本学ではデザイン科が独立していますが、かつては工芸科の中の図案専攻という位置づけでした。時代の移り変わりを感じさせます。」

展 示 作 品

岡崎滋	ポスター(NIPPON PAINT)	美大工芸科図案専攻卒業作品	紙/顔料	著彩	平面 1面	昭和29年(1954)	美大作品展
木村郁也	ポスター(RUINS)	美大工芸科図案専攻卒業作品	紙/顔料	著彩	平面 1面	昭和29年(1954)	美大作品展
城了治	ポスター(NO ATOMIC BOMB)	美大工芸科図案専攻卒業作品	紙/顔料	著彩	平面 1面	昭和29年(1954)	美大作品展
柳原良平	ポスター(原子工業株式会社)	美大工芸科図案専攻卒業作品	紙/顔料	著彩	平面 1面	昭和29年(1954)	美大作品展

平田白一	戦乱と愛のうた	美大工芸科図案専攻卒業作品	紙／顔料	著彩	平面 2面	昭和30年(1955)	美大作品展
横溝敬三郎	ポスター(フルーツパーラーホップトップ)	美大工芸科図案専攻卒業作品	紙／顔料	著彩	平面 1面	昭和32年(1957)	美大作品展
小森康弘	オートバイ	美大工芸科図案専攻卒業作品	紙・木／写真・塗料		平面・立体 2面・1個	昭和34年(1959)	美大作品展
小林一夫	ポスター(赤玉ポートワイン)	美大工芸科図案専攻卒業作品	紙／顔料	著彩	平面 1面	昭和36年(1961)	美大作品展
岡田和也	ポスター(マダムキラー)	美大工芸科図案専攻卒業作品	紙／顔料	著彩	平面 1面	昭和37年(1962)	美大作品展
大森聰子	コスチューム 歌劇魔笛	美大工芸科図案専攻卒業作品	紙／顔料	著彩	平面 1面	昭和37年(1962)	美大作品展
吉田武夫	立体移動仮設便所	美大工芸科図案専攻卒業作品	紙・木／インク・塗料		平面・立体 6面・1個	昭和38年(1963)	美大作品展
越田英喜	ファンタジーと科学	美大工芸科デザイン専攻卒業作品	紙／顔料	著彩	平面 12面	昭和40年(1965)	美大作品展
松谷昌順	イメージ・ウラ・オモテ	美大工芸科デザイン専攻卒業作品	紙／インク		ドライポイント 平面 4面	昭和43年(1968)	美大作品展
樋口広・大岡恭三・三島やよい・黄俊明	セミナーハウス計画案	芸大工芸科デザイン専攻卒業作品	紙／写真		平面 11面・1冊	昭和46年(1971)	芸大作品展
古川加津夫	IMAGE 25-11	芸大美術専攻科デザイン専攻修了作品	紙／インク		シルクスクリーン 額 11面	昭和48年(1973)	芸大作品展
杉島厚仁	サゼッションシリーズ	芸大デザインコースデザイン専攻卒業作品	紙／顔料		著彩 平面 5面	昭和52年(1977)	芸大作品展
宝角光伸	ELECTRONIC HOME	芸大大学院美術研究科デザイン専攻修了作品	紙／インク	著彩	平面 8面	昭和60年(1985)	芸大作品展

C. 京都市四条ギャラリー展示

「京都市立芸術大学芸術資料館収蔵品展

小合友之助—染色と絵画」

会 期 平成9年10月4日(土)～10月27日(月)

会 場 京都市四条ギャラリー(下京区四条高倉東入)

入場者 1100人 21日間(展示点数 79点)

京都市四条ギャラリーにおいて本館収蔵品展を行った。主催は本館及び本学芸術教育振興協会である。展示内容は本館の所蔵する小合友之助資料のうち、これまでに整理された写生・墨彩画・下絵などの絵画資料と、帝展出品作をはじめとする染色作品など78点を選び展示した。これらの資料の大部分は今回初めて公開されるものであり、染色家として著名な作者の、創作の背景をうかがわせるものといえる。ものを見る目や制作の過程が見え隠れする多数の資料に、会期中は多くの美術愛好家が訪れ、鑑賞した。

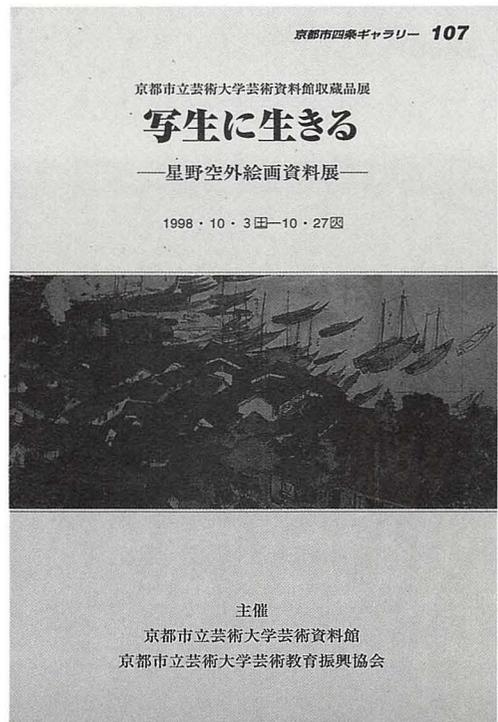
展覧会用に、ポスター(B3, 2色刷)・はがき(2色刷)・パンフレット(B5判, 4ページ)が印刷された。



ポスター



はがき



パンフレット

ごあいさつ

京都市立芸術大学は、内外に広く開かれた大学をめざして、美術・音楽にわたり幅広く持続的な活動を続けておりますが、京都市四条ギャラリーにおける本学芸術資料館の収蔵品の一般公開もその重要な事業のひとつです。従来は、芸術資料館が調査研究を進めてきました上佐派絵画資料の展示を恒例として来ましたが、それも過去7回続き、未調査の資料はまだかなり残っていますが、今回は土佐派絵画資料の公開を休んで、特別に染色家小合友之助の珍しい美術資料を紹介いたします。これらの資料は、このたびご遺族よりご寄贈いただいたものですが、ここに、すでに所蔵している美工図案科の卒業作品と代表作のひとつ「雨」を加えて展示構成しています。

小合友之助は、明治31年(1898)京都に生まれ、染色家として帝展・日展を中心に活躍、京都染織界のリーダーとして山鹿清華や稲垣稔次郎らとともに染織を近代芸術に高め、昭和41年(1966)、68才で世を去りました。また同24年に京都市立美術専門学校の助教授になってから同38年に京都市立美術大学を停年退官するまで、後進の指導にあたり、多くの今日の染色作家に大きな影響をあたえました。

今回の展示資料は、いままで紹介される機会の少なかったものばかりです。これらは、小合友之助の芸術性の理解のために、その生成の源泉を探る興味深い資料であり、芸術家の自由闊達な芸境にふれることができる貴重なものです。

本展の開催にあたり、ご遺族の多大なるご厚意に心から感謝するとともに、関係各位のご協力に厚く御礼申し上げます。

平成9年10月

京都市立芸術大学芸術資料館
京都市立芸術大学芸術教育振興協会



壁掛南祖坊と八郎太郎

出品目録

資料名	分類	制作年	寸法(cm)	形状	備考
写生ノート綵工	写生	昭和12年(1937)	20.3×15.0	ノート	「綵工」(第1回文展)の写生
写生ノート制作エスキース	写生	昭和14年頃(c.1939)	20.3×16.2	ノート	
写生ノート牛屏風	写生	昭和17年(1942)	21.0×15.0	ノート	「牛屏風」(第5回文展)の写生
写生ノート流水嵐山	写生	昭和22年(1947)	20.0×16.0	ノート	「流水屏風」(第3回日展)の写生
写生ノート裸婦京都駅	写生	昭和25(1950)	21.0×15.0	ノート	「裸婦」に関連する写生など
写生ノート宇治川	写生	昭和28年4月(1953)	20.8×15.0	ノート	「山水」(第5回京展)の写生
写生ノート梧桐浪千鳥	写生	昭和29年(1954)	20.8×15.0	ノート	「青空」(第10回日展)の写生
写生ノート猫	写生	昭和26-29年(1951-54)	20.8×15.0	ノート	「猫」に関連する写生など
写生ノート保津虎姫行1	写生	昭和30年(1955)	20.8×14.9	ノート	「弥勒菩薩」関連のエスキース
写生ノート鷹ヶ峰	写生	昭和37年(1962)	21.0×15.0	ノート	「鷹ヶ峰」に関連する写生
写生ノート北海道13	写生	昭和38年7月(1963)	21.0×15.0	ノート	「上雲」に関連する写生
写生ノート篠ノ井京都	写生	昭和39年2月(1964)	21.0×15.0	ノート	「山雪」に関連する写生
写生ノート十津川熊野4尾鷲鈴鹿	写生	昭和39年11月(1964)	21.0×15.0	ノート	「山」に関連する写生
写生ノート中国行8歌劇半坡	写生	昭和40年9月(1965)	21.0×15.0	ノート	
写生ノート中国行12同庚節	写生	昭和40年10月(1965)	21.0×15.0	ノート	「今朝風流」に関連する写生
写生帖桔梗かぼちゃ農家	写生	昭和4年7月(1929)	36.8×27.0	帖	
写生帖椿野鳥鮎ばら	写生	昭和21-22年(1946-47)	27.0×19.8	帖	
写生帖萩秋の花	写生	昭和24年(1959)	29.0×23.3	帖	「萩秋」(第5回日展)の写生
写生帖靈鑑寺の紅梅鯛	写生	昭和31年(1956)	35.5×25.2	帖	「梅」(第9回京展)の写生
写生帖牡丹太郎と初子	写生	昭和32年(1957)	35.5×25.2	帖	「太郎と初子」(第13回日展)の写生
折帖小作品集	墨彩画	昭和15-25年(1940-50)	29.3×11.0	帖	8図の墨淡彩による画帖
折帖8月15日墨彩画実蔬菜園	墨彩画	昭和20年(1945)	17.3×12.5	帖	果実、野菜、9図の墨彩画集
和綴写生帖椅子の裸婦	墨彩画	昭和25年(1950)	23.7×16.3	帖	「裸婦」に関連する写生
色紙画帖	墨彩画	昭和30-40年(1955-65)	44.5×42.0	帖	墨彩画色紙11枚
写生郊外風景4汽車走る	写生	大正9年(1920)	30.5×48.0	まくり	黒インク
水彩池畔夕景	水彩画	大正11年(1922)	39.0×56.5	まくり	水彩
水彩陽のあたる納屋	水彩画	大正11年(1922)	34.5×50.8	まくり	水彩
模写正倉院御物製・緑綾3	模写	大正12年5月(1923)	20.2×28.1	まくり	顔料、和紙
模写正倉院御物製・紫綾7	模写	大正12年(1923)	11.2×32.7	まくり	顔料、和紙
模写正倉院御物製・緋羅23	模写	大正12年(1923)	27.6×13.8	まくり	顔料、和紙
模写大燈国師袈裟裏錦蟹牡丹文様	模写		28.7×18.0	まくり	顔料、和紙、大徳寺蔵
模写大燈国師袈裟裏唐繡	模写		74.3×540.0	まくり	顔料、和紙、大徳寺蔵
模写大燈国師袈裟色裂蜀江錦	模写		71.5×53.2	まくり	顔料、和紙、大徳寺蔵
模写後宇多上皇黄純納衣銀欄1	模写	大正5年12月(1916)	31.7×14.0	まくり	顔料、和紙、大覚寺蔵
模写東海庵表装裂天地	模写	大正6年10月(1917)	39.4×29.0	まくり	顔料、和紙、妙心寺東海庵蔵
模写都貝図及表装裂押分印金	模写		50.7×48.0	まくり	顔料、和紙、本法寺蔵
模写伊達家蔵衣装表	模写		126.5×98.0	まくり	顔料、和紙
模写伊達家蔵衣装刺繡部分	模写		31.0×23.5	まくり	顔料、和紙
着彩写生牡丹雲龍獅子	写生		52.0×63.3	裏打ち	黒、顔料、和紙

小合友之助略年譜

明治31年(1898)	3月28日京都市に生まれる。家は代々友禪の型彫師である。	昭和2年(1927)	彩光会に結成に参加する。
大正5年(1916)	京都市立美術工芸学校図案科卒業。都路華香塾に入り日本画を学ぶ。 この頃より西陣織物館の委嘱による古代染織品の模写に専念する。	昭和4年(1929)	この頃龍村織物の囑託として図案を制作。
大正12年(1923)	第10回再興日本美術院展に、日本画「子等は嬉ぶ」が初入選する。	昭和7年(1932)	第13回帝展第4部美術工芸に「臙葱和楽壁掛」が初入選する。
		昭和10年(1935)	蒼潤社が結成され、創立会員となる。
		昭和11年(1936)	文展監査展で選奨(それまでの特選に相当する)を受賞する。
		昭和12年(1937)	京都工芸院が創立、幹事となる。

資料名	分類	制作年	寸法(cm)	形状	備考
着彩写生牡丹玉泉山	写生	大正6年10月(1917)	50.3×34.3	裏打ち	墨、顔料、和紙
着彩写生いちご	写生	昭和9年5月(1934)	31.8×34.3	額装	墨、顔料、和紙
着彩写生白つばき	写生		31.8×34.5	裏打ち	墨、顔料、和紙
墨写生風景笠置2	写生		26.0×45.8	裏打ち	墨、顔料、和紙
墨彩きゆうりの花	墨彩画		41.7×32.7	まくり	墨、顔料、和紙
墨彩茄子の花	墨彩画		57.5×48.2	まくり	墨、顔料、和紙
墨彩さつまいも2	墨彩画		31.8×46.4	裏打ち	墨、顔料、和紙
墨彩茄子とさやまめ	墨彩画		34.3×42.5	まくり	墨、顔料、和紙
墨彩竹の子	墨彩画		42.6×56.1	軸装	墨、顔料、和紙
墨彩水蜜桃	墨彩画		37.0×47.5	軸装	墨、顔料、和紙
墨写生波濤1	写生		24.5×41.5	額装	墨、和紙
墨写生波濤2	写生		24.5×41.5	額装	墨、和紙
墨彩田園冬日	墨彩画		45.5×38.7	裏打ち	墨、和紙
墨彩風景山河2	墨彩画		32.5×40.7	額装	墨、和紙
墨彩驟雨2	墨彩画		32.3×40.0	額装	墨、和紙
墨彩樹下の犬2	墨彩画		40.5×39.5	まくり	墨、和紙
墨彩犬と遊ぶ3	墨彩画		34.6×21.2	額装	墨、和紙
墨彩干し柿と百舌	墨彩画		34.3×40.0	まくり	墨、和紙
墨彩皿上のふり	墨彩画		48.2×56.2	まくり	墨、顔料
墨彩読書する婦人	墨彩画		46.2×35.2	まくり	墨、和紙
墨彩眠る猫	墨彩画		32.5×31.0	軸装	墨、和紙
流水1	エスキース		19.7×42.9	まくり	顔料、和紙
波	エスキース		25.1×35.4	まくり	パステル、和紙
樹	エスキース	昭和35年9月(1960)	33.4×25.0	まくり	パステル、洋紙
ばら	下図		31.5×14.9	まくり	顔料、和紙
桔梗	下図	昭和39年(1964)	33.3×15.0	まくり	顔料、和紙
日本画角力	日本画	大正12年頃(c.1923)	68.5×56.5	軸装	絹本着色、墨、顔料
日本画川沿いの家	日本画	大正12年頃(c.1923)	43.8×71.8	軸装	絹本着色、墨、顔料
綴錦牡丹	染織		115.5×36.5	軸装	絹、表具部分も綴織
綴織習作	染織		86.0×31.0	額装	染料、絹
壁掛鞍馬図	染色	昭和5年頃(c.1930)	169.0×87.5	綿布裏打	染料、綿布
舘欄和楽壁掛	染色	昭和7年(1932)	228.5×97.5	綿布裏打	染料、綿布、第13回帝展
壁掛南祖坊と八郎太郎	染色	昭和8年(1933)	143.0×186.5	綿布裏打	染料、綿布、第14回帝展
舘欄驚捕獲兔図	染色	昭和5年頃(c.1930)	182.5×103.5	パネル	染料、綿布
染額富士	染色		35.0×92.3	額装	染料、綿布
染額裸婦	染色	昭和25年(1950)	34.0×14.5	額装	染料、綿布
写生はがき夏2題	スケッチ	大正10年(1921)	9.3×15.0	まくり	ペン、水彩
モザイク壁飾図案	図案	大正5年(1916)	171.5×87.0	軸装	顔料、紙、美工卒業作品
雨	染色	昭和28年(1953)	170.0×185.0	二曲一隻	染料、絹、第9回日展

昭和14年(1929) 市展(現在の京展)の審査員となる。

昭和17年(1942) 染色の創作作家グループ母由良荘を結成する。

昭和22年(1947) 新匠美術工芸会の結成に参加する。

昭和24年(1949) 京都市立美術専門学校助教となる。

日展の審査員となる。

昭和25年(1950) 京都市立美術専門学校助教兼京都市立美術大学助教授となる。

昭和28年(1953) 京展復活し審査員となる。

昭和31年(1956) 京都市立美術大学教授となる。

昭和32年(1957) 日展評議員となる。

昭和36年(1961) 現代工芸美術家協会が設立され委員となる。

昭和38年(1963) 京都市立美術大学を停年退職する。

昭和41年(1966) 4月21日永眠。カトリック衣笠山墓地に葬られる。

小合友之助の染色家としての評価は、今日確たるものがあることは衆目の一致するところだが、その業績回顧の多くは、染色家として立って活躍をはじめた昭和10年頃からの紹介になっている。確認できる実際の美術的な資料がそれ以後のものであるからだが、この度ご遺族に遺されていた未見の資料を整理する機会を得た。

260数冊に及ぶ写生ノートや写生帖、80点ほどにもなるまくりのままの墨彩作品、大正5年から大正12年前後の古裂模写など多様な性格の資料があり、なかには昭和8年の新聞紙に包まれてしまいこまれたままのものもあった。調査の最初の段階で、帝展の初入選作である昭和7年の「臈縷和楽壁掛」や翌年の第14回帝展作「壁掛南祖坊と八郎太郎」など初期の臈縷の代表的な作品がまず確認できた。この2点を含めて一緒に保存されていた「駿馬図壁掛」などの制作は過去にあった小合友之助の作品展には出品されていなかったもので、小合友之助の染色展開の出発点を知る不可欠の貴重な資料になる。

さらにもうひとつ貴重な資料に思えたのは、81図に及ぶ古裂模写である。年譜では大正5年頃から西陣織物館の委嘱を受けて古代衣装の模写に従事して図録「綾錦」の制作出版に協力したことが知られている。模写は、彩色も克明丁寧に忠実な現物の再現が図られた優れたものであり、大覚寺が所蔵する後宇多上皇黄純衲衣を大正5年12月に模写したのから大正12年の正倉院御物製の綾錦だけでない種々の模写があり、西陣織物館の委嘱から始まった仕事が自分自身の研究のために発展して深められていったことが窺い知れる。

写生ノートと写生帖も一般には公開される機会が少なかった資料である。写生ノートは、ほとんどが

鉛筆で描かれており、いずれも単純な少ない線であっさり対象を描きとめている。まるでその時の印象だけをメモにとるだけで十分に制作の構想になるのだと語っているような感じさえする。完成作品と二重写しになるような制作の下絵になっているものもある。或いはやはりそれは、小合友之助という自由な精神性の発露、作家的個性の為す業なのだろうか。写生ノートは、しばしば旅の絵日記のような雰囲気があったが、昭和30年頃から旅行の頻度が高まるにつれそういう傾向を強くして、次第に染色の制作と直接的な関連は少なくなっていくが、それがかえって芸術家小合友之助の日常的な絵心のありのままの姿、素顔を見せてくれているような印象になる。

墨彩画も、今回のように写生風なものから文人風な作調のものまで、幅広い作画世界を一望すると、終生変わることがなかった絵画表現への愛着といったものを感じさせられるものだ。加えて、今回が初めての紹介になるだろうと思われる大正期の水彩作品と日本画作品を確認することができたことも、若い時代の小合友之助が日本画家都路華香に師事して、大正12年の第10回再興日本美術院展に入選する日本画歴を持っているだけに、染色家小合友之助を知る多くの人にとっても、様々な側面からその芸術の源泉に触れる希有の好機となるように思う。

(京都市立芸術大学芸術資料館学芸員)

●ギャラリー講座

□10月9(木)

「小合友之助の新収蔵資料について」
大須賀潔 (京都市立芸術大学芸術資料館学芸員)

●午後5時30分会場でおこないます。

次回予告

京都市四条ギャラリー 96

地球温暖化防止京都会議開催記念展

(財)京都市芸術文化協会による

—地球・自然・やさしさ—

11月1日(土)～12月9日(火)

京都市四条ギャラリー

京都市下京区四条高倉東入 (四条東洋ビル地階)

TEL (075) 223-1851 〒600

●開所時間：午前10時～午後7時

●休所日：水曜日、年末・年始

●入場無料



教育普及関係

A. 収蔵品貸出状況

本学外に貸し出された収蔵品は下記のとおりである。

平成9年度総計 22件 97点

作品名	貸出先／展覧会名	会 期
土田麦僊 写生帖 冊子 1冊 土田麦僊 髪 軸 1幅	東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・日本経済新聞社／ 土田麦僊展	1997.09.13～1997.11.30
土佐派絵画資料 大坂冬の陣図屏風抄写巻 卷子 1巻 土佐派絵画資料 大坂冬の陣図屏風抄写巻 卷子 1巻	和歌山県立博物館／戦国合戦図屏風の世界	1997.10.10～1997.11.09
万代明 普通のオジサン 平面 2面 万代 明／97「アイデア」誌グラフィックデザイン卒業制作展		1997.07.07～1997.07.31
伝 田中親美 年中行事絵巻 卷子 1巻 作者不詳 年中行事絵巻 卷子 1巻	斎宮歴史博物館／中世の斎宮－斎王と中世政権－	1997.10.10～1997.11.24
福田平八郎 雨後 屏風（6曲） 1双 朝日新聞社文化企画局／自然と日常－見る喜び	福田平八郎展	1998.01.04～1998.01.25
岡本神草 口紅 屏風（2曲） 1隻 木村斯光 もだえ 軸 1幅	山種美術館／美人画の誕生	1997.09.13～1997.11.16
秋野不矩 雨期 額 1面	毎日新聞社大阪本社・天竜市／秋野不矩展	1998.03.19～1998.09.21
土佐派絵画資料 天王寺屋宗閑・紅屋宗陽像 裏打 1枚 土佐派絵画資料 茜屋宗佐妻像 裏打 1枚 土佐派絵画資料 長谷川藤広像 裏打 1枚 土佐派絵画資料 万崎屋そうい・そうへ・箔屋了宅像 裏打 1枚 土佐派絵画資料 金田屋宗乙像 裏打 1枚 土佐派絵画資料 天王寺屋宗凡像 裏打 1枚 土佐派絵画資料 泉州殿像 裏打 1枚 土佐派絵画資料 木津屋道久妻像 裏打 1枚 土佐派絵画資料 住吉屋求派像 裏打 1枚 土佐派絵画資料 きぬやちやうかつ像 裏打 1枚 土佐派絵画資料 武野宗瓦像 裏打 1枚 土佐派絵画資料 三好義継像 裏打 1枚 土佐派絵画資料 千利休像 裏打 1枚 土佐派絵画資料 今井宗久像 裏打 1枚 土佐派絵画資料 土佐光起像 裏打 1枚 土佐派絵画資料 土佐光則・光吉像 裏打 1枚	堺市博物館／堺－もの・ひと・こと－	1997.10.05～1997.11.09

村上華岳	二月の頃	軸	1幅	西日本新聞社/ 近代日本美術史の形成－河北倫明が探求した芸術の世界－	1997. 11. 15～1997. 12. 23
伊藤継郎	三人の裸婦	額	1面	兵庫県立近代美術館／阪神間モダニズム展	1997. 10. 18／1997. 12. 07
中村善種	広告のある街での対話	額	1面	中村善種遺作展実行委員会／中村善種の遺作	1997. 10. 16～1997. 11. 18
中村善種	余呉の釣人	額	1面		
上村松篁	立葵	額	1面	姫路市立美術館・神戸新聞社／上村家百年の画業 松園・松篁・淳之展	1998. 04. 04～1998. 05. 10
姫路市立美術館					
大野倣高	椎の森	額	1面	茨城県近代美術館/ 緑と土への思い－劉生の時代、そしてその後	1998. 04. 04～1998. 05. 10
土佐派絵画資料	東北院職人歌合	卷子	1巻	岐阜県美術館／近代のやまと絵－古典美の再発見－	1998. 03. 03～1998. 03. 29
土佐派絵画資料	東北院職人歌合	卷子	1巻		
西垣籌一	レントゲン室	屏風（2曲）	1隻	平塚市美術館／日々の詩 日本画の捉えた日常の情景	1998. 02. 07～1998. 03. 15
西嶋武司	晨	屏風（2曲）	1隻	財団法人中信美術奨励基金／第10回京都美術文化賞受賞記念展	1998. 01. 22～1998. 01. 29
池田遙邨	灯台	額	1面	宇都宮美術館／京都の日本画－伝統と創世の系譜	1998. 03. 01～1998. 03. 29
宇田荻邨	野々宮	額	1面		
竹内栖鳳	牛	軸	1幅		
菊池芳文	藤	軸	1幅		
山元春挙	松蕈	軸	1幅		
猪原大華	池	額	1面		
山口華楊	樹	額	1面		
奥村厚一	渚	額	1面		
林司馬	花鳥図	屏風（2曲）	1隻		
徳岡神泉	晩秋	額	1面		
秋野不矩	雨期	額	1面		
上村松篁	立葵	額	1面		
三輪晁勢	仏法僧	額	1面		
麻田辨自	唐崎一之松	額	1面		
大野倣高	彼岸花蕾	額	1面		
浜田観	芥子	屏風（3曲）	1隻		
石本正	二人の裸婦	額	1面		
山本倉丘	静晨	額	1面		
上原卓	竹の径	額	1面		
川村曼舟	蛭邨暮靄	軸	1幅		
川村曼舟	老龍瑞光	軸（三幅対）	1幅		
西山翠嶂	竹	軸（三幅対）	1幅		
川北霞峰	梅	軸（三幅対）	1幅		
加賀山白峰	秋霽	軸	1幅		
岡文涛	暗中出手	軸	1幅		
立脇泰山	黄昏	軸	1幅		

渡辺与平	狐	軸	1幅	
榊原紫峰	軍鶏	軸	1幅	
入江波光	北野の裏の梅	軸	1幅	
松宮芳年	堺の相生橋	軸	1幅	
村上華岳	二月の頃	軸	1幅	
星野空外	淀川	軸	1幅	
小野竹喬	南国	軸	1幅	
土田麦僊	髪	軸	1幅	
不動立山	美人 冬の夜更	軸	1幅	
見城白崖	日傘	軸	1幅	
大西荘観	外出前	軸	1幅	
窶本一洋	今年竹	屏風(4曲)	1隻	
福田平八郎	雨後	屏風(6曲)	1双	
玉城末一	幽遠	屏風(4曲)	1隻	
板倉星光	はなび線香	屏風(2曲)	1隻	
稲垣仲静	豹	屏風(2曲)	1隻	
岡本神草	口紅	屏風(2曲)	1隻	
木村斯光	もだえ	軸	1幅	
吉川観方	入相告ぐる頃	屏風(2曲)	1双	
佐藤光華	三五夜中	軸	1幅	
中村大三郎	花を持てる聖者	屏風(3曲)	1隻	
堂本印象	世相三題	軸	3幅	
田之口青晃	西瓜畑	屏風(2曲)	1隻	
曲子光男	深秋	屏風(2曲)	1隻	
西山英雄	廢船	屏風(2曲)	1隻	
古田和夫	スケート	額	1面	
並木光昭	早梅	額	1面	
日ノ下淳市	坂	額	1面	

佐野猛夫	黒い潮	屏風(2曲)	1隻	京都市美術館/佐野猛夫遺作展
佐野猛夫	凍雲	屏風(2曲)	1隻	

1998.03.03~1998.04.05

B. 収蔵品学内使用状況

I. 本学内に於いて館外使用した収蔵品は下記のとおりである。

総計 2件6点

資料名	目的	貸出先	使用場所
竹内鳴鳳/扇面写経下絵(大阪:四天王寺)/卷子3巻	模写制作	日本画研究室	模写室
林司馬/八角堂内陣柱絵(奈良:栄山寺)/額1面	模写制作	日本画研究室	模写室
林司馬/牡丹図(部分) 伝李迪/軸1幅	模写制作	日本画研究室	模写室
閻魔天像 京都:醍醐寺/軸1幅	模写制作	日本画研究室	模写室

C. 収蔵品補修状況

今年度補修修理を行った収蔵品は下記のとおりである。

総計 6件 53点

名称	点数	類別	補修内容
土佐派絵画資料絵巻粉本	13巻	参考品	卷子装
小合友之助粉本	33枚	参考品	卷子装
小合友之助「綾錦図」	3巻	参考品	卷子装
林屋源之助「西洋各時代壁燈図案」	2面	参考品	額装
中村大三郎「花を持てる聖者画稿」	1面	参考品	額装
神坂雪佳「観楓図」	1面	参考品	額装

D. 収蔵品撮影掲載状況

本館収蔵品の撮影掲載許可は下記のとおりである。

総計 29件 231点

作品名	掲載者	掲載書紙名	発行予定日
土佐派絵画資料「名所歌絵巻」 論文「土佐光起の色と墨－須磨明石図屏風を中心として」	実方 葉子／美術史学会	『美術史』第143冊	1997.09.01
土佐派絵画資料「今井宗久像」 『堂々日本史』 「織田信長最後の晩餐～本能寺に消えた大戦略～」	日本放送協会番組制作局教養番組部／ (NHK総合テレビ)		1997.04.15 (放映予定日)
八木一夫「壁体」，尾形乾山「梅花文水注」，「色絵菊文七宝透手焙」 嵯峨御流華道総司所出版部	いけばな嵯峨御流機関紙	『嵯峨』6月号	1997.06.01
真野岩夫「OPERA1988」	真野岩夫／	『真野岩夫作品集』	1997.10.01
西嶋武司「晨」，「遠い野」，「燦」 ニューカラー写真印刷株式会社／		『西嶋武司型染作品集』	1997.06.01
土佐派絵画資料「人麿図」，「朔旦冬至図」 株式会社思文閣出版／		『寛永文化のネットワーク』	1997.06.01
「色絵菊文七宝透手焙」 『マイクロソフトエンカルタエンサイクロペディア』	マイクロソフト株式会社研究開発本部／		1997.06.01
矢野義男「冬田」	矢野義毅／	『矢野義男作品集』	1997.11.01
六代清水六兵衛「錆秋草花器」，尾形乾山「籠目文向付」 嵯峨御流華道総司所出版部／		いけばな嵯峨御流機関紙『嵯峨』7月号	1997.07.01
佐野猛夫「黒い潮」，浅見隆三「蒼」	社団法人日展／	日展史第32巻『改組日展編1』	

		1997. 09. 01
村上華岳「二月の頃」	株式会社日本アートセンター／新潮日本美術文庫第39巻『村上華岳』	1997. 12. 10
「末吉船」模本	株式会社新人物往来社／『別冊歴史読本／戦国150年ニュース』	1997. 07. 25
土佐派絵画資料「花卉写生帖」10図	株式会社淡交社／淡交別冊第24号「茶花－炉の季節－」榎原吉郎『絵に見る茶花』	1997. 09. 01
土佐派絵画資料「藤貞幹書状」	財団法人古代学協会／「古代文化」第49巻第9号	1997. 09. 01
大野倣嵩「彼岸花蕾」	読売新聞社編集局文化部 読売新聞日曜版『絵は風景』	1997. 09. 21
石崎光瑠「鳥」スケッチ, 「石南花」スケッチ	大西 基子／京都文化博物館研究紀要『朱雀』第9集「西村五雲と石崎光瑠」	1997. 11. 28
土田麦僊「髪」	株式会社ネクサス／「開運！なんでも鑑定団」 (テレビ) 1997. 11. 25 (放映予定日)	
田村宗立旧蔵粉本「摩多利神」「玉女神」	少年社BOOKSESOTERICA編集部／『天台密教の本』(学習研究社刊)	1997. 12. 10
村上華岳「巖」	株式会社日本アートセンター／新潮日本美術文庫第39巻『村上華岳』	1997. 12. 10
土佐派絵画資料「足利義晴像」など肖像粉本190点	株式会社京都書院／『像と影－土佐家の肖像粉本』	1998. 04. 15
戸田天波「少女」	井笠広域観光協会／『井笠路探訪』井笠広域観光協会発行	1998. 03. 30
土佐派絵画資料「足利義晴像」「天竺氏像」「三好義継像」「三好実休像」「真采院像」	株式会社至文堂日本の美術編集部／日本の美術『武家の肖像』	1998. 05. 01
「年中行事絵巻」模本	京都市景観・まちづくりセンター／情報交流誌「ニュースレター」第2号	1998. 04. 01
土佐派絵画資料「鍛冶神像」	聖学院大学出版会／『川口鋳物の技術と伝承』三田村佳子著	1998. 03. 10
土佐派絵画資料「土佐光信像」	株式会社日本アートセンター／新潮日本美術文庫第二巻「土佐光信」	1998. 05. 10
小野竹喬「風景」	株式会社芸術公論社／『美術名鑑99年度版』	1998. 12. 10
土佐派絵画資料「柿本人麿像」	株式会社淡交社／『淡交』4月号	1998. 04. 01
「九相図巻」模本	京都新聞社編集局／京都新聞連載「乱世に生きて－蓮如の思想と行動」	1998. 04. 30
土佐派絵画資料「天照大神図」	少年社BOOKSESOTERICA編集部/BooksEsoterica『天皇の本』	1998. 04. 15

注・掲載を要しない研究のための撮影や手続きをしても使用しなかった掲載許可などについては、割愛している。

E. 博物館学実習受入状況

本学博物館学課程の博物館学実習について本施設では下記の者を受入れた。

清水直子	三宅玲子	浅田香苗	石田育代	石津通子
伊藤衆史	正垣雅子	田中雅美	長島敦子	三浦洋子
三宅砂織	北里美絵子	前川 香	宮治珠里	田中さおり
鎌田 泉	森川弘美			

以上17名

F. 特別閲覧許可状況

本館収蔵品の特別閲覧状況は下記の通り。

学内関係者	2件
学外特志者	1件
総計	3件